トルコギキョウに美サンランダイヤスター

長野県千曲（ちくま）市力石の中曽根健氏はトルコギキョウ生産の第一人者といわれる人であり、また、育種家として知名度が高い。同氏が育成した「コサージュ」は当代の人気品種でコサージュ会（全国の会員120名）の主宰者でもあり、会員の宮原洋一氏、金子儀宣氏らは昨年、オランダのフェンローにおいて開催された２０１２世界切花コンテストにおいて上位入賞を果たし、世界のフローリストの注目をひきつけた。

快適空乾と美サンラン
会長のハートを射止める

美サンランダイヤスター展張のコサージュ会会長　中曽根健氏

コサージュ会会長
中曽根　健氏
長野県千曲市力石

千曲地区はカーネーションや切りバラなどの栽培が古くから行われていたところ。現在はトルコギキョウが盛んで、もう60年のキャリアを有しているといわれる。ということは、同地の気象条件と土壌条件がトルコギキョウに合っているからにほかならないと思うが、それだけではない。〝作りたい人は拒まず〟というか熱心な人にはオープンに、ノウハウをていねいに伝授したことがトルコギキョウが今日の発展につながったと見たほうがよく、先人たちの度量の大きさが偲ばれる。

信越線の上田駅から車で約10分ほどで中曽根健氏のハウスへ到着する。この人は北海道から宮崎にかけてのコサージュ生産者で構成する会の会長であり、通年生産・販売を行うかたわら、コサージュのような優良品種育成者としても有名であり、魅力的品種の育成、普及にも当たっている。

記者が取材に訪ずれた4月12日がちょうど48歳の誕生日とのこと。宮崎大学を卒業と同時に父が手がけていたトルコギキョウ栽培を志し、育種は大学生の頃から興味があったので休みで家に帰ったときに見よう見真似でやっていたそうだ。

48歳はまだまだ若いし、これからの成長がたのしみである。

栽培面積は大型ハウス、パイプハウスを含めて1、６００坪。自家労働力４人とパート４人、研修生1人の計9人である。

父の代からフィルムは三菱樹脂アグリドリームと決めていたようで、外張りにはシクスライトクリーンムテキL、それとカーテンフィルムは快適空乾を、また、パイプハウスにはダイヤスターUVと昨年秋から全国発売された美サンランダイヤスターを一部のハウスで使用している。

中曽根氏が育成したコサージュ。今年も順調な生育ぶりを見せている

千曲地区の切り花生産者は昔から三菱樹脂アグリドリーム㈱のフィルムの愛用者が多く、外張りはもちろん、内張りにも採用している。環境に左右されず、高品質の花を生産しているが、中でも中曽根、宮原両氏は耐久無滴散乱光農ＰＯフィルム「美サンランダイヤスター」と高機能内張りカーテンフィルムの「快適空乾」を導入、高品質の作物生産と高い省エネ効果を上げている。

それともう一点とくに注目されるのは、大型ハウスに「W快適空乾」というのをカーテンに導入して、今年大成果を上げているとのこと。これは目下のところ関東と東北対象の限定販売だが、評判がよいため夏ごろから全国発売される予定になっている。

快適空乾 水滴のボタ落ちなし
美サンランダイヤスターを高く評価

まず、快適空乾について、中曽根氏は次のように評価している。「いちばん強く印象に残っているのは水滴のボタ落ちがしないことと、開閉がスムーズで保温力が大きい点です。トルコギキョウの価格面から考えると30%は節油する必要があると思いますが、それが快適空乾で解決できる意義は大きいと思います」

もう1点は美サンランダイヤスターについて。これは自宅のすぐ側にきわたりますから作物に影もできないし、生育のムラができないこともメリットです。

トルコギキョウは草丈をあまり伸ばし過ぎず、花を大きくする必要がありますが、適切な草丈を維持する上でも美サンランダイヤスターは評価できます。ですから、コサージュ会会員にもぜひ使うようにすすめたいですね。

夏は暑いでしょうといわれますけど、それには遮光資材を使用すれば問題がなく、私はやはり三菱樹脂アグリドリームさんの光質コントロールフィルムのメガクールのネットタイプをかけています。パートさんたちが昼間もハウスに入るのですが、温度はかなり下がりますし、夏についても心配はしていません」

コサージュシリーズの通年供給体制をとることと、魅力的品種を開発することを最大の目標に掲げ、今後も全力投球すると中曽根氏は決意を語っていた。

滴散乱光農ＰＯフィルムの美サンランダイヤスターを展張しての体験を取材させてもらった。

快適空乾にぞっこん
灰色カビや病原菌が付かない

fフラット代表
宮原　洋一氏
長野県千曲市力石

入賞したコサージュ　マーブルブルー

宮原洋一氏はコサージュシリーズの育種家中曽根健氏とは幼なじみだそうで、見る人が感動する大きな花に仕立てることを心がけているそうだ。

去年オランダで開催された国際園芸博覧会フロリアード２０１２夏のトルコギキョウ切り花コンテストで見事2位入賞の快挙をなしとげ、一躍スターダムにのし上がった。

「トルコギキョウは品種的に環境条件に左右されやすく、コンテストの出品時に得心できるものは30本ていどしか咲いていなかった。出品会社や出品者があまりにも多く、これじゃ今年はだめかと思いましたが、中曽根さんの育成種であるコサージュマーブルブルーが2位に入賞したため驚くとともに感動に包まれました」と語る。

快適空乾を展張している宮原洋一氏

なお、花といえばオランダだが、オランダはあまり手をかけずに回転をかけて小さい花をたくさん付けて飾っておくといういき方をしているが、その点日本は仕立てで、良い花を作り込んで付加価値をつけるというやり方なんですね。ちなみに一位、二位、三位は長野県ですから、３人で上位を独占しました」

中曽根氏のところから5分足らずのところに宮原氏の大型ハウスがあり、このハウスは外張りにシクスライトクリーンムテキL、中のカーテンは快適空乾である。シクスライトについてはすでに定評があり、花を作っている人からは多く利用されている。

快適空乾については最初のころから使用しているが、これの最大の利点はやはり水滴のボタ落ちがなく、開閉作業がらくなことと、これを張っているハウスは灰色カビが少なく、水分がたまっているハウスはビシュウム菌がつくけれども、それも全然出なくなったそうだ。

快適空乾を張ったところは地温も10℃はコンスタントに保つようでそれ以下だとトルコギキョウはよく生長していかないし、生育も遅れるが快適空乾だとちょうどいい具合だそうだ。厚味が〇・〇七五㍉だが、〇・一㍉のものがあればぜひ張りたいといっている。

大型ハウスは12月中旬に定植したもので、あと1カ月半で採花ができるだろうといっていた。なお、全栽培面積は50㌃で、夫婦2人とパート2人の計4人である。

生育の進みがよい
美サンランダイヤスターの普及は絶対に伸びる

60坪のパイプハウスには去年美サンランダイヤスターを展張した。ハウス内がとても明るくて、散乱光が適度に入るためトルコギキョウの葉と葉の間にも光がよく当たるため、生育の進みがよいという。それと夏は葉焼けがしないから調子がいいそうだ。

あまり明るいと節間が延びるけれども、丈はとりやすい点にも注目しているという。

来年はもっと展張面積を増やすことも考えているようだ。